

予 算 要 求 資 料

令和6年度当初予算

支出科目 款：農林水産事業費 項：畜産業費 目：家畜保健衛生費

事業名 野生動物アフリカ豚熱防疫体制構築事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

農政部 家畜防疫対策課 捕獲調査係 電話番号：058-272-1111(内4158)

E-mail：c11449@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 933 千円 (前年度予算額：933 千円)

<財源内訳>

区分	事業費	財 源 内 訳							
		国庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	933	466	0	0	0	0	0	0	467
要求額	933	466	0	0	0	0	0	0	467
決定額	933	466	0	0	0	0	0	0	467

2 要求内容

(1) 要求の趣旨（現状と課題）

アフリカ豚熱はアフリカでは常在的に、ロシア、欧州、アジア、オセアニア等でも発生が確認されており、日本の空海港等でも水際対策が強化されている。

アフリカ豚熱には治療法や予防法がなく、その病原性の高さから、いのしし等の野生動物に侵入することとなれば、畜産業のみならず、ジビエ等の産業に甚大な影響をもたらすこととなるため、野生動物間でのアフリカ豚熱のまん延防止対策の実施に必要な体制を整備する必要がある。

(2) 事業内容

野生動物の生息域におけるアフリカ豚熱の防疫体制の整備を目的として、アフリカ豚熱に対応した連携体制の構築及び防疫演習を継続して実施する。

(3) 県負担・補助率の考え方

県負担 1 / 2、国補助 1 / 2

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
旅費	59	防疫演習旅費
報償費	168	防疫演習報償費
需用費	396	防疫演習資材
役務費	156	通信運搬費
使用料	154	車両等借上げ
合計	933	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

- ・「ぎふ農業・農村基本計画」(R3~7)
 - (2) 安心して身近な「ぎふの食」づくり
 - ④家畜伝染病に対応できる畜産産地づくり

(2) 国・他県の状況

国では令和3年度に実地演習を実施。さらに複数の県での実地演習、専門家等による検討、各県からの意見等を踏まえ、基本方針を作成中。

国において令和5年度より本事業に関する経費への補助が実施されている。

(3) 後年度の財政負担

アフリカ豚熱の県内野生動物への侵入に迅速に対応できる体制構築のため、後年度も財政負担は必要。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

アフリカ豚熱陽性が確認された場合を想定した演習を毎年実施し、国、関係自治体、狩猟者や森林作業者等との連携体制の構築と迅速に現地対応できる体制を整備する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R4)	R4年度 実績	R5年度 目標	R6年度 目標	終期目標 (R7)	達成率
①						
②						

○指標を設定することができない場合の理由

アフリカ豚熱対応体制を整備することが目的であるため、数値目標を設定することは不適。

（これまでの取組内容と成果）

令和2年度	※令和5年度新規事業
令和3年度	※令和5年度新規事業
令和4年度	※令和5年度新規事業

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない 	
(評価) 3	世界各国でアフリカ豚熱の感染が確認されており、コロナ収束により人流も活発になるため、陽性が確認された場合に迅速に対応できる体制構築の必要性は増加している。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない 	
(評価)	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている 	
(評価)	

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 アフリカ豚熱の対策は猟友会や森林作業者等の山林関係者の協力が不可欠なため、どのように連携体制を構築するかを検討する必要がある。
--

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか アフリカ豚熱感染確認を想定した演習を実施することで、対応体制の問題点を解消していく。
--

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	
組み合わせる理由 や期待する効果 など	【〇〇課】